

令和7年度

北海道網走南ヶ丘高等学校

定時制課程普通科

第1学年

年間指導計画・評価計画

- 1 国語科「現代の国語」
- 2 地歴公民科「公共」
- 3 数学科「数学Ⅰ」
- 4 理科「科学と人間生活」
- 5 保健体育科「保健」「体育」
- 6 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」
- 7 情報科「情報Ⅰ」
- 8 商業科「ビジネス基礎」
- 9 情報科「情報Ⅰ」

※家庭科「家庭基礎」はオリエンテーション時にプリント等で説明済み。

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

| 教科 | 科目 | 単位数 | 実施学年 | 教科書(出版社) | 副教材等 | 担当 |
|----|----|-----|------|----------|--------|------|
| 公民 | 公共 | 2単位 | 1学年 | 公共(東京書籍) | 授業プリント | 中野克彦 |

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

| | |
|-------------|--|
| 【身に付けて欲しい力】 | 我々の生きる現代社会において起こる様々な諸問題について多面的・多角的に考察し、その内容を自分の言葉で説明することができる。 |
| 【学習の留意点】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ パワーポイントや映像資料などを提示するためプロジェクター等のICT機器を使用する。 ・ プロント(ノート)を毎回回収し、フィードバックする。 ・ 授業のユニバーサルデザイン化を意識した授業を行う。 ・キャリア教育の一環として、地元企業のお話からリアルな職業の現場について知る。 |

【評価の観点とその主な目標】

※評価を行う時は、単元、授業の前「どのようなかを求めらるか(基準)」と「どのようなしべを求めらるか(規準)」を説明します。

| | |
|-----------------------|--|
| 評価の規準(どのようなしべを求めらるか?) | 評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況 |
|-----------------------|--|

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|---|---|--|
| | 現代の諸問題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から論理的主体などとして活動するために必要となる情報を的確かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けることができる。 | 現実社会の諸問題の解決に向けて、選択・だんだんの手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを自分の言葉で表現することができる。 | よりよい社会の実現を視野に、現代の諸問題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な行為や深い理解を通して涵養される、現代社会を生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚を深めることができる。 |

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせ変更して下さい。

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題(○)(今時の問いかけ) | 実習内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 思 | 主 | 実習目 | 振り返り・次年度に向け |
|---------------------------------------|--|--|--|---|--------------------|---|---|---|-----|-------------|
| 公共的な空間を作る私たち —社会の中の自己 | 1 青年期と自己形成の課題 2 自己形成と社会への参画 | 1 2 | 1 「私らしさ」はどのようにつくられるのか? 2 「私」はどのように社会とかわるのか? | 1 人間の生理の中で、青年期はどのような時期なのか理解し、自分の言葉で説明することができる。 2 青年期のキャリア形成に重要なことは何かを理解し、自分の言葉で表現することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | ○ | ○ | ○ | | |
| | 1 個人として尊重される人間 2 社会的な存在としての人間 3 伝統・文化のなかの人間 | 3 4 5 6 | 1 人間を「個人」として尊重するとはどういうことか? 2 人間が「社会的な存在」であるとはどういうことか? 3 私たちのものの考え方はどのように伝統・文化とかわっているのか? 前時の復習テスト | 1 人間が「個人として尊重」されていない場面を考え、比較し自分の言葉で表現することができる。 2 「人間は社会的な存在である」という考え方が現代社会においても妥当なのか、思想家の思想も踏まえ、自分の言葉で表現することができる。 3 日本における人間観とは何か、特徴を自分の言葉で表現することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | ○ | ○ | ○ | | |
| 公共的な空間における人間としての在り方生き方 —共に生きるための倫理 | 1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理 | 7 8 | 1 目的論とはどのような考え方ののだろうか? 2 義務論とはどのような考え方ののだろうか? | 1 ベンサムとミルの考え方の違いを理解し自分の言葉で表現することができる。 2 自分にとって特になんていうルールについて、「無知のヴェール」という考えかたを使って自分の言葉で表現することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | ○ | ○ | ○ | | |
| | 1 公共的な空間における協働とは 2 民主主義とは 3 立憲主義とは 4 人権保障の意義と展開 | 9 10 11 12 13 | 1 協働はどのように成り立つのか? 2 民主主義をどのようにして実現するのか? 3 憲法は何のためにあるのか? 4 人権と平等はどのようにすれば確保されるのか? 前時の復習テスト | 1 協働を成立させる方法としての市場と国家の役割をまとめ、自分の言葉で表現することができる。 2 多数決と熟議を比較してそれぞれの特徴や問題点を考え自分の言葉で表現することができる。 3 「立憲主義」の考え方に基づく憲法の意義・役割について自分の言葉で表現することができる。 4 現代社会における人権問題 | 授業プリント 前時の復習テスト | ○ | ○ | ○ | | |
| 民主政治と私たち | 1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 5 政党政治と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論 | 14 15 16 17 18 19 20 21 | 1 社会生活のなかで政治はどのような役割を果たしているのだろうか? 2 地域社会の問題を解決するために、私たちはどのようなことができるのだろうか? 3 国会は国政のなかでどのような役割を持っているのだろうか? 4 内閣は国政のなかで、どのような役割をもっているのだろうか? 5 選挙に参加することは、どのような意義を持っているのだろうか? 6 政党や利益集団は、民主政治においてどのような役割を持っているのだろうか? 7 メディアの情報とどのように接していけばよいのだろうか? 前時の復習テスト | 1 民主政治への関わり方について、具体的な参加の仕方を知り、自分の言葉で表現することができる。 2 日本の地方自治が抱える問題点を考え、自分の言葉で表現することができる。 3 二院制の意義や問題点について理解し、自分の言葉で表現することができる。 4 近年の日本で行政改革が求められているのはなぜか、理由を考え自分の言葉で表現することができる。 5 投票率の低下を防ぐためにはどのようなことができるのかを考え、自分の言葉で表現することができる。 6 政党や利益集団の意義とは何か自分の言葉で説明することができる。 7 メディアの問題点について考えどのように接するべきなの | 授業プリント 前時の復習テスト | ○ | ○ | ○ | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|----------------------------|--|--|--------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--|--|--|--|--|--|
| 法の働きと私たち | 1 法と社会規範の役割 2 法の成立と適用 | 22 23 | 1 法とは何か？ 2 法は裁判においてどのように適用されるのだろうか？ | 1 既存内容から法の役割や分類について考え整理し、自分の言葉で表現することができる。 2 法が公正なルールとして備えるべき特質は何かを理解し、自分の言葉で説明することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| | 1 市民生活と法 2 多様な契約 3 消費者の権利と責任 | 24 25 26 | 1 私法にはどのような役割があるのか？ 2 契約とは何か？ 3 自立した消費者としてどのように行動すべきか？ | 1 私法とは何かを理解し、どのような場面で私法は修正されるのかについて自分の言葉で表現することができる。 2 日常生活の中で、どのような契約を結んでいるのかを書き出し、整理することができる。 3 近年起こる消費者問題について知り、自分の意見を表現することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| | 1 司法のしくみと役割 2 刑事司法と司法参加の意義 | 27 28 29 | 1 司法はどのような役割をもっているのだろうか？ 2 どのようにして社会秩序は維持されているのか？ 前時の復習テスト | 1 公正な裁判を保障するために日本国憲法はどのような規定を置いているのかを理解し、自分の言葉でまとめることができる。 2 刑事手続きにおいて人身の自由をどのように保障しているのかについて自分の言葉でまとめることができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| 経済社会で生きる私たち | 1 私たちと経済 2 市場経済のしくみ 3 国民所得と経済成長 | 30 31 32 | 1 経済活動とは何だろうか？ 2 どうすれば効率的な資源配分を達成できるのだろうか？ 3 一国の経済はどのようにかはるだろうか？ | 1 毎日の生活の中でトレードオフと考えられる事例を挙げ、自分の言葉で表現することができる。 2 市場における価格の推移について理解し、自分の言葉で表現することができる。 3 物価の変動による消費行動の結果、どのように社会が変化するか自分の言葉でまとめることができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| | 1 金融のしくみと働き 2 中央銀行の役割と金融環境の変化 | 33 34 | 1 金融とは何だろうか？ 2 なぜ中央銀行や金融政策が必要なのだろうか？ | 1 家計が金融にどのように関わっているのか、自分の言葉で説明することができる。 2 日本銀行の金融政策はどのように行われているのか理解し、自分の言葉で説明することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| | 1 財政の働き 2 財政の課題 3 社会保障の考え方 4 社会保障の課題とこれから | 35 36 37 38 49 | 1 政府はどのように財やサービスを供給しているのか？ 2 消費税と所得税はどちらが公平な税なのだろうか？ 3 なぜ社会保障が必要なのだろうか？ 4 持続可能な社会保障制度とはどのようなものだろうか？ 前時の復習テスト | 1 財政の3つの機能について景気の状態によってどのような財政政策が取られるのか自分の言葉で説明することができる。 2 応能給、応益給の二つの租税負担について、どちらが公平であると考えられるのか自分の意見を説明することができる。 3 日本の社会保障制度について、四つの柱の内訳を理解し自分の言葉でまとめることができる。 4 少子高齢化社会の特徴をまとめ、人口減少社会における社会課題を挙げて説明することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| 私たちの職業生活 | 1 働くということ 2 多様な職業選択 | 50 51 | 1 職業とは何か？ 2 どのように職業選択をすればよいのだろうか？ | 1 個人の職業労働の意義について考え、自分の言葉で説明することができる。 2 現代の職業キャリア選択についての注意点を考え、自分の言葉で表現することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| | 1 労働者の権利 2 現代の雇用・労働問題 | 52 53 | 1 労働者はどのような権利をもっているのだろうか？ 2 これからの労働環境はどうなっていくのだろうか？ | 1 労働者を保護するための法律について理解し、労働契約と労働協約、労使協定の違いを自分の言葉で説明することができる。 2 現代の雇用、労働問題についてまとめ、どのようなことを解決していかなければならないかを自分の言葉で表現することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| 国際社会の中で生きる私たち | 1 国際社会の成り立ち 2 国際連合の役割 | 54 55 56 | 1 国際社会を構成する主体とはどのようなものだろうか？ 2 国際連合はどのような役割を果たしているのだろうか？ 前時の復習テスト | 1 現代の国際社会を構成する主体は、どのような活動をしているのか、理解し自分の言葉で表現することができる。 2 国際連合の専門機関は、それぞれどのような活動をしているのか自分の言葉で説明することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| | 1 日本の平和主義と冷戦 2 冷戦後の世界と日本 | 57 58 | 1 平和主義の下、日本の「平和と安全」はどのように守られてきたのだろうか？ 2 日本の「平和と安全」はどのように変化してきたのだろうか？ | 1 日米安全保障条約を結んでいることのメリットとデメリットは何か自分の言葉で説明することができる。 2 冷戦終結後の日本の安全保障政策の変遷について、まとめて説明することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| | 1 現代の紛争とその影響 2 国際金融の仕組みと動向 | 59 60 | 1 現代の紛争にはどのような特徴があるのだろうか？ 2 日本が果たすべき役割とはどのようなものだろうか？ | 1 難民問題の発生する理由を自分の言葉で説明することができる。 2 日本の国際貢献の現状と課題についてまとめ、自分の言葉で表現することができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| | 1 貿易のしくみ 2 国際金融のしくみと動向 3 グローバル化と今日の国際経済 4 国際経済の諸課題 | 61 62 63 65 66 | 1 貿易の果たす役割は何か？ 2 国際金融のしくみはどうなっているのか？ 3 今日の国際経済秩序はどのように形成されてきたのか？ 4 国際社会は経済格差是正にどのように取り組んでいるのか？ 前時の復習テスト | 1 関税の引き上げがなぜ起こるのか、自分の意見を説明することができる。 2 アメリカの物価上昇率が高まると円高、円安のどちらになるのか理解することができる。 3 イギリスがEUからなぜ離脱したのかを理解し、自分の言葉で表現することができる。 4 MDGsとSDGsのゴールの違いについて、調べまとめることができる。 | 授業プリント 前時の復習テスト | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |
| 調べてまとめよう | 調べ学習 | 66 ～ 70 | 調べてまとめよう | 自分の関心をもった事柄について調べて発表することができる。 | | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | | | | | |

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

| | | | | | | |
|----|------|-----|------|---------------|----------------------------------|------|
| 教科 | 科目 | 単位数 | 実施学年 | 教科書(出版社) | 副教材等 | 担当者 |
| 数学 | 数学 I | 2単位 | 1学年 | 高校数学 I (実教出版) | ステップノート数学 I 新刊 カウントダウン数学Basic | 石川 柊 |

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

| | |
|-------------|---|
| 【身に付けて欲しい力】 | 数学的活動を通して、基礎基本の定着を目指し、数学に対する興味・関心を高めて欲しい。 |
| 【学習の留意点】 | <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組もうとする態度を特に評価します。 ・基礎的知識、論理的思考を身に付けようとする態度で取り組んで下さい。 |

【評価の観点とその主な目標】

※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。

| | |
|-----------------------|--|
| 評価の規準(どのようなレベルを求めるか?) | 評価A 授業の目標に対して十分に満足できる状況 評価B 授業の目標に対して概ね満足できる状況(標準) 評価C 授業の目標に対して到達度が不十分で努力を要する状況 |
|-----------------------|--|

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|---|---|---|
| | 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力や論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。 | 数と式のよさを認識し日常生活や社会生活に活用しようとしたり、粘り強く考え 数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。 |

評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題 (Q)(今時の問いかけ) | 実施内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 思 | 主 | 実施日 | 振り返り・次年度に向け |
|--------|-----------|----|--|---------------------------------------|--------------------|---|-----|---|-----|-------------|
| | オリエンテーション | | | | | | | | | |
| 中学校の復習 | 数と式① | 1 | 整数や分数、小数の四則計算や累乗の計算はどのようにすればいいのだろうか。 | 整数や分数、小数の四則計算、累乗の方法について理解を深め、問題に取り組む。 | 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | |
| | | 2 | カッコのついた場合の計算や、正負の四則計算はどのように計算すればいいのだろうか。 | カッコの処理の仕方や、正負の四則計算について理解を深め、問題に取り組む。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| | | 3 | 文字が含まれている式はどのように計算すればいいのだろうか。 | 文字式の計算について理解を深め、問題に取り組む。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | | 4 | 効率的く式を展開するにはどのようにすればいいのだろうか。 | 式を展開について理解を深め、問題に取り組む。 | 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | |
| | | 5 | 公式にはない展開の問題はどのように展開すればいいのだろうか。 | 展開の応用について理解を深め、問題に取り組む。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | | 6 | 因数分解ってなに? | 因数分解の定義を理解し、公式を用いて共通因数でくることができる。 | 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | |
| | | 7 | 足して真ん中の数、掛けて右側の数になる数字の組合せを探そう! | 因数分解の公式を用いて、問題を処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | | 8 | 項が2つの式を因数分解するとき、共通因数でくくる以外の方法はあるか? | 因数分解の公式を用いて、問題を処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | | 9 | △の前に数字があるときは、共通因数でくくる以外の方法はあるか? | 因数分解の公式を用いて、問題を処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | |
| | | 10 | 複雑な式を因数分解するときはどうすればいいの? | 因数分解の公式が使えない形に変形して、問題を処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | | | 確認テスト | 11 | 確認テスト | | テスト | | ○ | |

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題 (Q) (今時の問いかけ) | 実施内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 見 | 主 | 実施日 | 振り返り・次年度に向け |
|----------------|-----------|------------------|------------------------------------|---|---|--------------------|---|---|-----|-------------|
| 中学校の復習 数と式② | 平方根の計算① | 12 | 平方根ってなに？どうやって計算するの？ | 平方根の意味や性質について理解し、平方根の計算をすることができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | | |
| | 平方根の計算② | 13 | 有理化ってなに？ | 分母を有理化することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| | 式の計算の利用 | 14 | 複雑な式はどう計算すればいいの だろうか。 | 計算を簡単に処理できるよう 考え、工夫して計算すること ができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| | 1次方程式① | 15 | 方程式、1次方程式ってなに？ | 方程式、1次方程式について 意味を理解し、問題を解く ことができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| | 1次方程式② | 16 | 文章を数式化するにはどう考え たらいのだろうか。 | 問題文章を読み解き、1次 方程式を作ることができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| | 連立方程式 | 17 | 連立方程式と方程式の違いはな に？ | 連立方程式について解き方 を理解し、適切に判断し解く ことができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| | 2次方程式① | 18 | 2次方程式ってなに？ | 2次方程式について解き方 を理解し、適切に解くこと ができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| | 2次方程式② | 19 | 文章を数式化するにはどう考え たらいのだろうか。 | 2次方程式の文章問題を 読み解き、数式化し、解く ことができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| | 確認テスト | 20 | 確認テスト | | テスト | | | ○ | ○ | |
| | 1章 数と式 | 1節 整式 文字式の決まり | 21 | 文字式のきまりってどんなこと があるのだろうか。 | 文字式の決まりについて理 解し、そのきまりに従って式 に表すことができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | |
| 整式① | | 22 | 次数、係数、定数項ってなに？ | 整式について理解し、整式 の次数、係数、定数項を求 めることができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 整式② | | 23 | 整式の整理はどうすればいいの だろうか。 | 整式について、同類項をまと めたり、降べきの順に整理 することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 整式③ | | 24 | 分配法則ってなに？ | 分配法則の仕方について理 解し、カッコをはずすこと ができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 整式の加法・減法 | | 25 | 多項式の足し算、引き算はどのよ うに計算すればいいのだろうか。 | 適切に多項式を代入して、 多項式どうしの足し算、引き 算をすることができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 整式の乗法① | | 26 | 文字式の掛け算はどのように計算 すればいいのだろうか。① | 指数法則について理解し、 単項式×単項式を計算する ことができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 整式の乗法② | | 27 | 文字式の掛け算はどのように計算 すればいいのだろうか。② | 指数法則について理解し、 単項式×多項式、多項式× 多項式を計算することができ る。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 乗法公式による展開① | | 28 | 展開の公式を用いて計算してみよ う。① | 展開の公式について理解 し、適切に問題を計算する ことができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 乗法公式による展開② | | 29 | 展開の公式を用いて計算してみよ う。② | 展開の公式について理解 し、適切に応用問題を計算 することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 因数分解① | | 30 | 因数分解の公式を用いて計算して みよう① | 因数分解の公式について理 解し、適切に問題を計算す ることができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 因数分解② | | 31 | 因数分解の公式を用いて計算して みよう② | 因数分解の公式について理 解し、適切に応用問題を計 算することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | |
| 確認テスト | | 32 | 確認テスト | | テスト | | | ○ | | |

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題 (Q) (今時の問いかけ) | 実施内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 思 | 主 | 実施日 | 振り返り・次年度に向け | |
|-----------|--------------------|----|------------------------------|---|--|--------------------|---|---|-----|-------------|--|
| 1章 数と式 | 2節 実数 平方根とその計算① | 33 | 平方根ってなに？どうやって計算するの？ | 平方根の性質について理解し、平方根を求めたり、素因数分解して a/b の形に変形することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | | |
| | | 34 | 平方根の四則計算ってどのように計算すればいいのだろうか。 | 平方根の四則計算の方法について理解し、適切に処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | | |
| | | 35 | 分母の有理化ってなに？ | 有理化について理解し、分母を有理化することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | | |
| | 実数 | | 36 | 実数ってなに？ | 実数について理解し、実数の種類を知る。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | 1次方程式① | | 37 | 1次方程式ってどうやって解くの？ | 1次方程式の解き方について理解し、適切に問題を処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | 1次方程式② | | 38 | 文章を数式化するにはどう考えたらいいのだろうか。 | 文章を適切に数式化し、1次方程式の文章問題を解くことができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | 不等式① | | 39 | 不等式ってなに？ | 不等式について理解し、不等号を用いて文章を数式化したり、数直線上に表すことができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | 不等式② | | 40 | 不等式の性質にはどのようなものがあるのだろうか。 | 不等式の性質について理解し、問題を適切に処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | 1次不等式① | | 41 | 1次不等式ってどうやって解けばいいのだろうか。 | 1次方程式との解き方の違いについて理解し、問題を適切に処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | 1次不等式② | | 42 | 1次不等式の文章問題は、1次方程式の文章問題と同じ考えで解けるだろうか？ | 1次不等式の文章問題について、適切に処理することができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | 絶対値 | | 43 | 絶対値ってなに？ | 絶対値について理解し、適切に値を求めることができる。 | 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | |
| | 確認テスト | | 44 | 確認テスト | | テスト | | | | ○ | |

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

| | | | | | | |
|----|---------|-----|------|-------------------|-------------|------|
| 教科 | 科目 | 単位数 | 実施学年 | 教科書(出版社) | 副教科等 | 担当 |
| 理科 | 科学と人間生活 | 2単位 | 1学年 | 高等学校 科学と人間生活(啓林館) | 各種補助資料(印刷物) | 齊藤真志 |

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

| | |
|-------------|--|
| 【身に付けて欲しい力】 | 科学的な見方や考え方を養い、科学に対する興味・関心を高めて欲しい。 |
| 【学習の留意点】 | ・意欲的に学習に取り組もうとする態度を特に評価します。 ・基礎的知識、論理的思考を身に付けようとする態度で取り組んで下さい |

【評価の観点とその主な目標】

※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか(基準)」と「どのようなレベルを求めるか(規準)」を説明します。

評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)

評価A 十分満足できる状況
評価B 概ね満足できる状況
評価C 努力を要する状況

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|--------------------------------------|---|--|
| | 自然の事象・現象について授業を通して理解し、知識や技能を身に付けている。 | 事象を科学的に観察し、導き出した考えを的確に表現しようとしている、もしくは表現できている。 | 自然の事象・現象に関心をもち、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。 |

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

| 大単元 | 小単元 | 次 | 種 別 (G)(今時の思いかけ) | 実習内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 思 | 主 | 実施日 | 振り返り・次年度に向け |
|-------------------------|---------------|----------------------|--|---------------------------------------|--------------------|---|---|---|-----|-------------|
| 第1部 第2章 微生物とその利用 | A 炭素の循環と微生物 | 1 | なぜ呼吸しているの？ 微生物って必要なの？ | 炭素の循環と微生物の係わりについて学ぶ。 | ノート プリント テスト | ○ | | | | |
| | B 生態系における微生物 | 2 | 顕微鏡ってどうやって使うの？ | 顕微鏡の使い方や、微生物の観察方法について学ぶ。 | プリント | | | ○ | | |
| | C 窒素の循環と微生物 | 3 | 窒素がなくなるとどうなる？ | 窒素の循環と微生物の係わりについて学ぶ。 | ノート プリント テスト | ○ | | | | |
| | C 水の浄化と微生物 | 4 | 飲み水はどうしてきれいなの？ | 水の浄化と微生物の係わりについて学ぶ。 | ノート プリント テスト | | ○ | | | |
| | D 微生物と人間の食生活 | 5 | 発酵食品ってなんだろう？ | 様々な発酵とそれを利用した食品について学ぶ。また、腐敗との違いを理解する。 | ノート プリント テスト | | ○ | ○ | | |
| 第2部 第2章 衣料と食品 | E 微生物と医学への応用 | 6 | カビや細菌が作り出す物質の中に、人の役に立つものはない？ | 抗生物質のはたらきや精製法について学ぶ。 | ノート プリント テスト | ○ | ○ | | | |
| | A 衣料と繊維 | 7 | 衣料の繊維にはどんな種類や性質があるだろう？ | 衣料に使われる繊維には様々な種類があり、様々な性質があることを学ぶ。 | ノート プリント テスト | ○ | | ○ | | |
| | B 衣料の洗濯 | 8 | せっけんは何から出来ている？ どうやって汚れを落とすの？ | せっけんの性質や作り方について学ぶ。 | ノート プリント テスト | | ○ | ○ | | |
| | C 食品の成分とエネルギー | 9 | 5大栄養素って何？ 人は1日にどのくらいのエネルギーを摂取する必要がある？ | 5大栄養素やエネルギー必要量について学習する。 | ノート プリント テスト | ○ | | ○ | | |
| | D 炭水化物 | 10 | ベタベタする米とパサパサする米は何が違う？どちらが健康的？ | 炭水化物を、単糖類・二糖類・多糖類に分類し、それぞれの性質について学ぶ。 | ノート プリント テスト | ○ | ○ | | | |
| | E タンパク質 | 11 | 古くなったタンパク質はどうやって排出する？ | アミノ酸の構造について学ぶ。 | ノート プリント テスト | ○ | ○ | | | |
| 第3部 第2章 熱の性質とその利用 | F 脂質 | 12 | 固体の油と液体の油は何が違う？ | 脂質の構造やその性質について学習する。 | ノート プリント テスト | | ○ | ○ | | |
| | A 熱と温度 | 13 | 温度が上がると、何が変わるの？ 熱が伝わるって、何が伝わるの？ | 分子の熱運動理論を用いて、熱に関する様々な現象について考える。 | ノート プリント テスト | ○ | ○ | ○ | | |
| | B 熱量と比熱 | 14 | 比熱って何？ | 熱量と比熱の関係について、数式を用いて考える。 | ノート プリント テスト | ○ | ○ | ○ | | |
| 第4部 第2章 自然現象と自然災害 | C エネルギーの利用 | 15 | エネルギーって何だろう？ | エネルギーの変換とその利用方法について考える。 | ノート プリント テスト | ○ | | ○ | | |
| | A 地震による景観と災害 | 16 | 何で地面が動くの？ | プレート運動と地震の仕組みについて学ぶ。 | ノート プリント テスト | ○ | | ○ | | |
| B その他の災害 | 17 | 北海道でどんな災害が起こる可能性がある？ | 洪水・津波・火山噴火など、北海道で起こる可能性のある災害について調べる。 | レポート | ○ | ○ | | | | |

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

| 教科 | 科目 | 単位数 | 実施学年 | 教科書(出版社) | 副教材等 | 担当者 |
|------|----|-----|------|----------|------|-------|
| 保健体育 | 保健 | 1単位 | 1学年 | 現代高等保健体育 | なし | 高原 大誠 |

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

| | |
|-------------|---|
| 【身に付けて欲しい力】 | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育 |
| 【学習の留意点】 | ・意欲的に学習に取り組もうとする態度を評価する。 ・基本的な知識を身につけ、自分の心と身体や、健康について考えようとするのが大切である。 |

| | |
|-----------------------|---|
| 【評価の観点とその主な目標】 | ※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか？(基準)」と「どのようなレベルを求めるか？(規準)」を説明します。 |
| 評価の規準(どのようなレベルを求めるか？) | 評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況 |

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|---|--|--|
| | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。 |

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題 (Q)(今時の問いかけ) | 実施内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 思 | 主 | 実施目 | 振り返り・次年度に向け |
|----------------|---------------|---|--|--|------------------------------------|---|---|---|-----|-------------|
| | オリエンテーション | | | 授業の年間の見通しや意義を理解する。 | 提出課題 | ○ | ○ | | | |
| 1単元 現代社会と健康 | 1 健康の考え方や成り立ち | | ・健康とはどのような状態だろうか？ ・どんな健康の要因があるのだろうか？ | 健康の考え方や、健康の成り立ちとその要因について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 2 私たちの健康のすがた | | ・昔と比べると今の日本の健康はどうか？ ・現代社会の健康問題はなにだろうか？ | 健康水準の変化とその背景や現在の健康問題について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 3 生活習慣病の予防と回復 | | ・生活習慣病ってなんだろう？ ・その予防と回復の仕方はなだろうか？ | 生活習慣病は、日常の生活行動と深い関係があることを理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 4 がんの原因と予防 | | ・がんの原因や予防はなんだろうか？ | がんの種類や原因、予防を理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 5 がんの治療と回復 | | ・どんな治療があるだろうか？ ・社会では、どんな取り組みがあるだろうか？ | がんの治療法や社会的な対策について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 6 運動と健康 | | ・運動をすると体にどんな変化があるだろうか？ | 健康と運動の関係について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 7 食事と健康 | | ・健康な食事とは、どのような食事だろうか？ | 食事と健康の関係性について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 8 休養・睡眠と健康 | | ・休養と睡眠をとらないとどうなるか？ ・良い休養・睡眠とは何だろうか？ | 健康からみた、休養・睡眠の意義について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 9 喫煙と健康 | | ・なぜ喫煙はいけないのか？ ・喫煙にまつわる取り組みやマナー・ルールはどのようなものがあるか？ | 喫煙対策について、個人や社会に分けて理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 10 飲酒と健康 | | ・なぜ飲酒はいけないのか？ ・飲酒にまつわる取り組みやマナー・ルールはどのようなものがあるか？ | 飲酒の長期的影響と短期的影響を理解する。 健康問題に対する個人や社会環境の対策について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 11 薬物乱用と健康 | | ・依存性って何だろうか？ ・薬物が人体に与える影響とは？ | 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解する。 薬物乱用防止のための個人や社会の対策を理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 12 精神疾患の特徴 | | ・精神疾患の要因と種類にはどのようなものがあるだろうか？ | 精神疾患の発病の要因や症状について理解する。 現代社会における精神保健の課題を理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 13 精神疾患の予防 | | ・精神疾患の予防する方法はなんだろうか？ | 精神疾患の予防、早期発見に必要なことについて理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------|--------------------|---|---|------------------------------------|---|---|---|--|--|
| 2単元 安全な社会生活 | 14 精神疾患からの回復 | ・精神疾患から回復するために、どのようなことが行われているか？ | 治療法や回復のためにどのような社会環境が必要か説明できる。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 15 現代の感染症 | ・感染症とは？ ・どんな感染症があるか？ | 感染症とは何か潜伏期間や感染力について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 16 感染症と予防 | ・感染症の予防はどんな経路があるか？ | 予防対策について3原則を理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 17 性感染症・エイズとその予防 | ・性感染症とは？ | 性感染症・エイズのほか感染症と異なる点について理解する。 対策について個人と社会について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 18 健康に関する意志決定・行動選択 | ・意志決定、行動選択それぞれにかかわる要因はなんだろう？ | 意志決定、行動選択それぞれにかかわる要因について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 19 健康に関する環境づくり | ・健康を保持増進するための環境とは？ ・ヘルスプロモーションの考え方は？ | 社会環境の健康への影響について理解する。 ヘルスプロモーションの考え方を理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 1 事故の現状と発生要因 | ・事故を起こした場合の被害の契機はどのようになっているだろうか？ | 事故の契機と被害の契機について理解している。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 2 安全な社会の形成 | ・自他の安全の確保する行動とはどのような行動があるだろうか？ | 安全のために必要な個人の行動について理解する。 すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 3 交通安全における安全 | ・交通事故防止のための取り組みはどのようなものがあるだろうか？ | 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 4 応急手当での意義とその基本 | ・心肺蘇生法はなぜ必要か？ ・心肺蘇生法の手順は？ | 応急手当の意義について理解する。 傷病者を発見した時に、観察・確認するポイントを理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 5 日常的な応急手当 | ・ケガに応じた応急手当とは？ | けがに応じた応急手当を理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | | | |
| | 6 心肺蘇生法 | ・心肺蘇生法の方法と意義について。 | 心肺蘇生法の方法と意義を理解する。 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

| 教科 | 科目 | 単位数 | 実施学年 | 教科書(出版社) | 副教科等 | 担当者 |
|------|----|-----|------|----------|------|-------|
| 保健体育 | 体育 | 2単位 | 1学年 | なし | なし | 高原 大誠 |

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

| | |
|-------------|--|
| 【身に付けて欲しい力】 | 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を育てる。 |
| 【学習の留意点】 | <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組もうとする態度を評価する。 ・運動不足の解消および体力の向上を目指す。 ・仲間と協力して取り組み、公正、協力、責任などの態度を身につける。 |

| | |
|-----------------------|---|
| 【評価の観点とその主な目標】 | ※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか？(基準)」と「どのようなレベルを求めるか？(規準)」を説明します。 |
| 評価の規準(どのようなレベルを求めるか？) | 評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況 |

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|--|--|--|
| | 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を良かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 | 生涯にわたって運動を良かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間との考えを他者に伝えている。 | 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。 |

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題(○)(今時の問いかけ) | 実施内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 風 | 主 | 実践目 | 振り返り・次年度に向け |
|-----|-----------|---|---|--|------------------------------------|---|---|---|-----|-------------|
| | オリエンテーション | | | 授業の年間の見通しや意図を理解する。 | 提出課題 | ○ | ○ | | | |
| | 体づくり運動 | | | ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 陸上競技 | | | ・陸上(走幅跳) ・投擲(砲丸投げ) ・競走(持久走・ハードル走・20mシャトルラン) | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | ソフトボール | | | ・キャッチボール ・打撃 ・守備 ・試合 | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | バドミントン | | | ・ドライブ ・ハイクリア ・ドロップ ・ヘアピン ・ゲーム など | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | サッカー | | | ・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | バレーボール | | | ・アンダーハンドパス ・オーバーハンドパス ・サーブ ・スパイク ・ゲーム | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | バスケットボール | | | ・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | ダンス | | | ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 卓球 | | | ・ラリー ・サーブ ・ゲーム | 発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 体育理論 | | スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。 | ・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方 | 発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動 | ○ | ○ | ○ | | |

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

| | | | | | | |
|-----|--------------|-----|------|------------------------------------|--------------|------|
| 教科 | 科目 | 単位数 | 実施学年 | 教科書(出版社) | 副教材等 | 担当 |
| 外国語 | 英語コミュニケーションI | 2単位 | 1学年 | All Aboard English Communication I | 各種補助教材(印刷物等) | 鹿原真生 |

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

| | |
|-------------|---|
| 【身に付けて欲しい力】 | 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度育成するとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う。 |
| 【学習の留意点】 | 英語は言語であり、人と人とのコミュニケーションを図る手段である。人々とコミュニケーションを図るには英語を通じて理解し、知識や見聞を広めると同時に、自分の考えや意見を英語で表現し、発信することが大切である。日頃から相手の話をよく聞き、自分の考えを送る習慣をつけ、積極的に異文化にふれることを心がけさせる。 |

| | |
|-----------------------|---|
| 【評価の観点とその主な目標】 | ※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような方を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。 |
| 評価の規準(どのようなレベルを求めるか?) | 評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況 |

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|---|--|---|
| | ・日常的な話題について、英語を聞いた時、黙ったりして、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを理解しているか。 | ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現しているか。 | ・コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。 |

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題 (G)(今時の問いかけ) | 実施内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 思 | 主 | 実施日 | 振り返り・次年度に向け |
|------------|------------------|---|---|---|-------|---|---|---|-----|-------------|
| ガイダンス | 授業の進め方・評価方法などの説明 | | | | | | | ○ | | |
| Warm-up | アルファベット | | ・アルファベットの書き方を再確認し、各アルファベットのフォニックスの復習をする。 | ・各アルファベットを正しく発音できる。 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | | |
| | 教室で使う表現 | | ・Class room English! | ・授業外で使用する英語の指示や返答を学習する。 発問 行動観察 プリント | | | | ○ | | |
| Pre-lesson | part1 | | ・My name is Ito Neko. | ・本文を読み、内容を理解する。 ・be動詞の肯定文と否定文、疑問を復習する。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | | |
| | part2 | | ・I like junk food! | ・本文を読み、内容を理解する。 ・一般動詞の肯定文と否定文、疑問を復習する。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | | |
| | Communication 1 | | ・Please introduce yourself. | ・自己紹介する。 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | | |
| Lesson1 | part1 | | ・What is Mario's favorite breakfast? | ・本文を読み、内容を理解する。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | ○ | | |
| | part2 | | ・Where did Phong eat breakfast today? | ・本文を読み、内容を理解する。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | ○ | | |
| | 過去形 | | ・Let's review the past tense. | ・過去形の構造を復習し、過去の出来事について話す。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | | |
| | Let's Try! | | ・Introduce your room. | ・There beの形を用いて自分の部屋を紹介する。 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | | |
| Lesson2 | part1 | | ・What is Rottneat Island famous for? | ・本文を読み、内容を理解する。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | ○ | | |
| | part2 | | ・What kind of rules are there for visitors? | ・本文を読み、内容を理解する。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | ○ | | |
| | 進行形 | | ・Let's review the progressive. | ・進行形の構造を復習し、現在進行形及び過去進行形の文を作ることが出来る。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | | |
| | Let's Try! | | ・Introduce your favorite one. | ・絵や写真を用いて、自分の好きなもの、人を紹介する。 発問 行動観察 プリント | | | ○ | | | |
| Lesson3 | part1 | | ・Why is Utsunomiya Seika always busy with her duties? | ・本文を読み、内容を理解する。 発問 行動観察 プリント | | ○ | | ○ | | |

| | | | | | | | | | |
|---------|------------|--|--|--------------------|---|---|---|--|--|
| | part2 | What will Seika do for as long as possible? | ・本文を読み、内容を理解する。 | 発問 行動観察 プリント | ○ | | ○ | | |
| | 助動詞 | Let's review the 'can' and 'will'. | ・助動詞の構造を復習し、これからすることやできることについての文を作ることが出来る。 | 発問 行動観察 プリント | ○ | | | | |
| | Let's Try! | how to go and what you can do | ・ある場所への行き方と、そこで出来ることについて発表する。 | 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | |
| Lesson4 | part1 | what does the flat become like on sunny days during the rainy seasons? | ・本文を読み、内容を理解する。 | 発問 行動観察 プリント | ○ | | ○ | | |
| | part2 | What does Kate want to do in the future? | ・本文を読み、内容を理解する。 | 発問 行動観察 プリント | ○ | | ○ | | |
| | to不定詞 | 「...するために」ってなんて言うの？ | to不定詞の構造と3つの用法を学習し、使えるようになる。 | 発問 行動観察 プリント | ○ | | | | |
| | Let's Try! | Introduce a place you want to visit. | 行ってみたい場所について発表する。 | 発問 行動観察 プリント | | ○ | | | |

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

| | | | | | | |
|----|--------|-----|------|----------|------|-------|
| 教科 | 科目 | 単位数 | 実施学年 | 教科書(出版社) | 副教科等 | 担当 |
| 商業 | ビジネス基礎 | 1単位 | 1学年 | 実教出版 | なし | 堀籠 美明 |

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

| | |
|-------------|---|
| 【身に付けて欲しい力】 | ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身につけ、ビジネスの情活動に適切に対応する能力と態度を育てる。 |
| 【学習の留意点】 | ・意欲的に授業に参加し、課題に取り組んでいる。 ・ビジネスに対して関心をもち、授業に取り組んでいる。 |

【評価の観点とその主な目標】

※評価を行う時は、単元、授業の前記どのような力を求めるか？(基準)とどのようなレベルを求めるか？(規準)を説明します。

| | |
|-----------------------|--|
| 評価の規準(どのようなレベルを求めるか？) | 評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況 |
|-----------------------|--|

| 観点 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|--|---|---|
| | ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。 | ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。 | ビジネスを適切に履修する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意欲をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。 |

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題 (Q)(今時の問いかけ) | 実習内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 思 | 主 | 実習日 | 振り返り・次年度に向け |
|--------------------|------------------|----|--|---|---|----------------------|---|---|-----|-------------|
| 第1章 商業の学習とビジネス | 1. いざ、ビジネスの世界へ | 1 | 商業ってなんだろう。現代の社会の変化について考えてみよう。 | 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解する。 | 授業観察 レポート | ○ | | | | |
| | 2. 私たちの社会とビジネス | 2 | 社会とビジネスの結びつきについて考えてみよう。 | ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連 | 授業観察 レポート 小テスト | | ○ | | | |
| 第2章 ビジネスとコミュニケーション | 1. コミュニケーション | 3 | コミュニケーションってなんだろう。上手なコミュニケーションについて考えてみよう。 | ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学ぶ。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 2. ビジスマナー | 4 | ビジスマナーってなんだろう。社会人として大切なことってなんだろう。 | ビジスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を身に付ける。 | 授業観察 レポート | | ○ | | | |
| | 3. 情報の入手と活用 | 5 | 情報はどのように集めればよいのだろうか。信頼できる情報ってなんだろう。 | 企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善を行う。 | 授業観察 レポート 小テスト | | | ○ | | |
| 第3章 経済と流通の基礎 | 1. 経済の仕組みとビジネス | 6 | 経済はどのようなしくみで循環しているのだろうか。 | 経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基盤として、流通に関する課題を発見し、その解決方法を考える。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 2. 経済活動と流通 | 7 | 流通ってなんだろう。毎日食べている食事を基に考えてみよう。 | 流通を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。 | 授業観察 レポート 小テスト | | ○ | | | |
| 第4章 さまざまなビジネス | 1. ビジネスの種類 | 8 | ビジネスにはどんな種類があるだろうか。 | ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて学ぶ。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 2. 小売業 | 9 | 小売業・卸売業の役割とはなんだろう。 | 流通や流通に関わるビジネスに関する知識を基盤として、流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 3. 卸売業 | | 小売業・卸売業にはどんな種類があるのだろうか。 | | | | | | | |
| | 4. 金融業 | 10 | 金融業・情報通信業の役割とはなんだろう。 | 流通や流通に関わる組織の一員としての役割を果たすための力を身に付ける。 | 授業観察 レポート 小テスト | | | ○ | | |
| | 5. 情報通信業 | | 金融業・情報通信業にはどんな種類があるのだろうか。 | | | | | | | |
| 第5章 企業活動の基礎 | 1. ビジネスと企業 | 11 | 企業の目的とはなんだろう。どんな種類の企業があるだろうか。 | 企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学ぶ。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 2. マーケティングの重要性 | | | | | | | | | |
| 第6章 ビジネスと売買取引 | 3. 資金調達 | 12 | ビジネスに必要な資金はなんだろう。どのように資金を集めるのだろうか。 | 企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考える。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 4. 財務諸表の役割 | | | | | | | | | |
| 第7章 ビジネスと売買取引 | 1. 売買取引の手順 | 13 | 企業間の売買取引とふだんの買い物の違いはなんだろう。 | 売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学ぶ。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 2. 代金決済 | | 14 | 代金の支払い方法にはどんなものがあるのだろうか。 | 取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考える。 | 授業観察 レポート 小テスト | | | ○ | |
| 第8章 ビジネス計算 | 1. ビジネス計算の基礎 | 15 | 割合はどんなところで使われているのだろうか。仕入原価と利益額はどのように計算するのだろうか。 | ビジネス計算に関する知識や技術を学ぶ。 | 授業観察 レポート | | ○ | | | |
| | 2. ビジネス計算の応用 | | 16 | 度量衡や貨幣の換算とはなんだろう。利息の計算はどのようにするのだろうか。 | ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。 | 授業観察 レポート 小テスト | | | ○ | |
| 第9章 身近な地域のビジネス | 1. さまざまな地域の魅力と課題 | 17 | 地元網走の魅力や課題をビジネスを基に考えてみよう。 | さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学ぶ。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 2. 地域ビジネスの動向 | | 18 | 過去と現在でオホーツク網走のビジネスはどのように変化しただろうか。 | さまざまな地域のビジネスに関する知識などを基に、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。 | 授業観察 レポート 小テスト | | ○ | | |

令和7年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

| 教科 | 科目 | 単位数 | 実施学年 | 教科書(出版社) | 副教材等 | 担当 |
|----|------|-----|------|----------|------|-------|
| 商業 | 情報 I | 2単位 | 1学年 | 実教出版 | なし | 堀籠 英羽 |

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

| | |
|-------------|---|
| 【身に付けて欲しい力】 | 情報に関する科学的な見方・考え方を涵かき、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 |
| 【学習の留意点】 | (1)効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深めるとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。 (2)情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 |

| | |
|---|--|
| 【評価の観点とその主な目標】 | |
| ※評価を行う時は、単元、授業の節「どのよう方を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。 | |
| 評価の規準(どのようなレベルを求めるか?) | 評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況 |

| 観点 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|--|--|---|
| | 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。 | 事実を情報とその結び付きの観点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 | 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 |

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

| 大単元 | 小単元 | 次 | 課題 (G)(今時の問いかけ) | 実施内容・目標 | 評価の方法 | 知 | 思 | 主 | 実施目 | 振り返り・次年度に向け |
|-------------------|------------------|----|-----------------------------------|--|----------------------|---|---|---|-----|-------------|
| 第1章 情報社会と私たち | 1 情報社会 | 1 | 情報社会って何だろう。 | 情報社会の現状や特性について理解する。 | 授業観察 レポート | ○ | | | | |
| | 2 情報社会の法規と権利 | 2 | 情報関係の法規や権利について考えてみよう。 | 他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 | 授業観察 レポート | | ○ | | | |
| | 3 情報技術が築く新しい社会 | 3 | 最新の情報技術とは何だろう。 | 社会の中で活用されている情報技術について理解する。 | 授業観察 レポート 小テスト | | | ○ | | |
| 第2章 メディアと情報デザイン | 1 メディアとコミュニケーション | 4 | メディアとコミュニケーションについて考えてみよう。 | メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。 | 授業観察 レポート | ○ | | | | |
| | 2 情報デザイン | 5 | 情報にはどんなデザインがあるのだろう。 | 社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 | 授業観察 レポート | | ○ | | | |
| | 3 情報デザインの実践 | 6 | 情報デザインを実際に扱ってみよう。 | 報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する。 | 授業観察 レポート 小テスト | | | ○ | | |
| 第3章 システムとデジタル化 | 1 情報システムの構成 | 7 | 情報システムはどのように構成されているのだろう。 | コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 | 授業観察 レポート | ○ | | | | |
| | 2 情報のデジタル化 | 8 | デジタル化って何だろう。 | アナログとデジタルの違いについて理解する。 | 授業観察 レポート 小テスト | | ○ | | | |
| 第4章 ネットワークとセキュリティ | 1 情報通信ネットワーク | 9 | ネットワークはどのように構成されていて、どんな種類があるのだろう。 | 情報通信ネットワークの構成について理解する。 | 授業観察 レポート | | | ○ | | |
| | 2 情報セキュリティ | 10 | 情報を安全に扱うにはどんなセキュリティがあればよいのだろう。 | 脅威に対する様々な安全対策について理解する。 | 授業観察 レポート 小テスト | ○ | | | | |
| 第5章 問題解決とその方法 | 1 問題解決 | 11 | 問題を解決する方法について考えてみよう。 | 問題解決の手順について理解する。 | 授業観察 レポート | | ○ | | | |
| | 2 データの活用 | 12 | 集めたデータはどんな場面で活用できるのだろう。 | データを収集したり、整理したりする方法について理解する。 | 授業観察 レポート 小テスト | | | ○ | | |